

ガバナー 月信

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER
2023-2024 Rotary International District 2630



6

2024/JUN.

vol.12



第2630地区のHPは
スマートフォンでも
ご覧いただけます。



第2630地区の
Facebookは
こちらから。
(登録が必要です)

Contents

2023-2024年度 第2630地区ガバナーメッセージ
クラブ会長挨拶 一年を振り返って
活動事業報告
第2630地区 会員数報告
第2630地区 会員動静報告
地区代表幹事挨拶

ロータリー親睦活動月間



素晴らしいきかな、ロータリー

ロータリー親睦活動月間

2023-2024年度
国際ロータリー第2630地区ガバナー

篠原 一行 (多治見リバーサイドRC)

早いもので 2023-24 年度の最後の月信となりました。この1年間、本当にありがとうございました。

ガバナーエレクトからスタートし 2 年の間、パストガバナーの皆様方のご指導を頂きながら、12 グループのガバナー補佐の皆様方、地区委員会委員長をはじめ委員の皆様方、地区代表幹事をはじめとする地区幹事、クラブの皆様方、そして多くのロータリアンのご支援、ご協力のおかげで何とか任務を終えられることができたのではないかと考えております。心より感謝申し上げます。

ロータリーに入会し、本当に多くの人に出会い、そして仲良くさせて頂き、多くのことを学ばせて頂きました。ロータリーは本当に素晴らしいです。

皆さん、ロータリーに欠けていることがあるとするなら、それは何だと思えますか？ わたくしが思う一つに、ロータリアン自身がロータリーの素晴らしさを実感しているかということです。各クラブで実践している五大奉仕活動や奉仕プロジェクト事業、青少年交換・米山記念奨学生・国際平和フェロー・R 財団奨学生・ポリオプラス・インターアクト・ローターアクト・地区補助金事業・グローバル補助金プロジェクト事業等々、数多くの素晴らしい奉仕活動を様々実践している組織がロータリーなのです。この活動に対し、ユニセフ・UNHCR・赤十字・各国の指導者等の方々より高評価をいただいています。すべてにおいて、素晴らしいプログラムといえます。財団奨学生には、亡くなられた緒方貞子さんや現在の国連事務次長の中満泉さん、国連や UNHCR 等々、世界で活躍される数多くの方々に対してロータリーが関わっているのです。

さて、ロータリーのモットーは、「Service above self. He profits most who serves best. 超我の奉仕。最もよく奉仕する者、最も多く報いられる。」であります。そして、「四つのテスト」、「ロータリーの目的」と共に、全てロータリーの心です。ロータリーは、理念なき奉仕団体でも寄付団体でもありません。ロータリー活動のキーワードは、「未来

のため、持続可能な良い変化をもたらす」ことです。ロータリーで一番大切なことは、ロータリーらしさの、「らしさ」です。そして、ロータリーは、色々な民族や宗教、様々な考え方を持ち合わせた人たちと一緒に、その多様性を認め、常に寛容の心を持って活動を行ってきたからこそ、全世界へ急速に広がっていったと思います。

今月は、「ロータリー親睦活動月間」です。ロータリーを一言で言いますと、「親睦・学び・成長・奉仕」、まずは、「親睦」が一番大切です。多くの人たちと親睦を重ね、多くのことを学び、ロータリーの心も学び成長して、世のため人のために尽くし、奉仕をすることです。

1921 年のエジンバラ（スコットランド）で開かれた年次大会で、ポール・ハリスは「ロータリーの原動力は親睦です」と、述べられ盛大な拍手を受けました。最近のロータリー会員を対象にした年次調査では、回答者の 45% が、ロータリーにとどまり続ける理由として「友情」を挙げています。また、ロータリーを通じて友人とのつながりを維持できることについては、多くが「満足している」と答えています。ロータリークラブは、多くの友人をつくり、会員相互の親睦を第一義とした団体であり、異業種交流の場でもあります。心許せる友と語り合い、学びあい、信頼を深め、職業の有益な情報を交換するのであります。

そして、ロータリーは思いやりのある平和な社会づくりを目指しています。ロータリアン自身の心の改善、奉仕の心の涵養は、ロータリークラブの例会の親睦を通して助長されるのであります。ロータリーには教師がいません、ロータリアン全員が教師であり、全員が生徒です。ロータリーは自己研鑽をする場でもあります。「入りて学び 出でて奉仕せよ」、例会は『人生道場』です。

おわりに、第 2630 地区会員各位のご多幸とご健勝、並びに 73 各クラブの益々のご発展を祈念申し上げます。最後のガバナーメッセージといたします。ありがとうございました。

三重県



MIE



桑名ロータリークラブ 会長
水谷 文人

「一年を振り返って」

2023年度もあと僅かとなりました。今期はコロナで休会になることなく予定された例会を行うことができ安堵しております。また会員増強では初の女性会員を含む新会員6名をお迎えし、全会員が増強に力を注いで下さったお陰で例会場は活気づいています。

事業としては、親睦活動委員会による桑名の花火大会を楽しむ家族会の開催、青少年育成事業では、コロナ禍で中断していた高校生への奨学金贈呈式の再開と第48回少年軟式野球大会開催、そして創立70周年式典並びに記念事業を無事終わりました。

一通りの目処が立ちやや気が緩んだ春先、我が桑員G桑名北RCの玉野英美さんがガバナーノミニーに選出されたというお知らせが届き、田中稔子PGに続く女性ガバナーの誕生に目が覚める思いがしました。

顧みて幹事はじめ会員の皆様のご理解ご協力の大きさに言葉にならない思いが致します。一年間、本当にありがとうございました。



桑名西ロータリークラブ 会長
丹羽 隆史

「一年を振り返って」

会長エレクト研修セミナーに参加してから早1年が経ちました。理事・役員との協力のもとクラブ運営がコロナ前の状態に戻せたことに感謝申し上げます。

篠原一行ガバナーの、ロータリーの話を会長挨拶でして下さいと言葉を胸に、毎回堅くて長い会長挨拶をさせていただき会員の皆様には大変申し訳なく思っておりますが、自分的にはロータリーの対する理解が深まった1年となりました。

クラブとしては会員の純増は達成できませんでしたが、2回のオープン例会を開催し、こども食堂支援事業もスタートできました。

残りの任期もロータリーのすばらしさを会員の皆様に伝えていこうと思います。もうしばらく、ご協力の程よろしく願いいたします。



桑名中央ロータリークラブ 会長
石井 清夫

「一年を振り返って」

今年のテーマ「夢と心の扉を開こう」。自己研鑽と将来の目標や悩み事を中心に奉仕と親睦、全員参加で取り組みました。

本年は中央ロータリークラブがメイン事業として、桑員地区インターシティミーティング(IM)を開催いたしました。篠原一行ガバナーをはじめ、伊藤嘉恭ガバナー補佐の協力の下全員参加で無事開催することができました。同時に4クラブ合同例会も行いました。

継続事業として桑員地区サッカー大会の開催、詐欺撲滅啓発活動をおこなうことができました。

残すところ数回の例会になりますので全力で取り組みたいと思います。加藤慎吾幹事をはじめ、会員の方々に協力して頂きありがとうございました。



桑名北ロータリークラブ 会長
田中 稔子

「一年を振り返って」

20年ぶりに2度目の会長職をお受けし、「例会で会長に与えられた時間」をクラブの仲間と分かち合うため、「プリ・チア」(Pretended Chairman)制度を設け、クラブの会員一人一人が「自分が会長になったつもり」になって3分卓話をして頂きました。

テーマは、「What's Rotary?」日頃私たちが目にし、耳にするさまざまな「ロータリー語」の意味を理解し、対するニーズに「奉仕の理想」を携えて奉仕プロジェクトの実践にどう向かうか等話を頂きました。

例会で「プリ・チア」の発言が、みんなにとって良い刺激となり、互いに理解し合い、分かり合える良い「学び」=「リスキング」の場となり定着しました。一人残らず心温まる親睦の精神を礎にして、奉仕活動に「明るく、楽しく、元気よく」励み、クラブ一丸となれたこと。

更には、当初の目的であるガバナー輩出の名誉に早々に与かり、桑名北クラブの活性化に勢いが増し、忘れがたく、『ロータリー家族』の皆様への感謝に尽きる貴重な一年となりました。



四日市ロータリークラブ 会長
山崎 長徳

「一年を振り返って」

本年度のマッキナリー会長テーマは「世界に希望を生み出そう、CREATE HOPE in the WORLD」です。ウクライナ紛争に加えガザ紛争も酷くなり、世界中に紛争が絶えません。

また能登震災、台湾地震と世界で自然災害も増えております。まさしく希望を生み出す事が世界の人に大切な一年であったと思います。

また、四日市ロータリーのテーマは「つなげよう、未来に」です。理事、各委員の皆様のお陰で、永年の四日市ロータリーの歴史と伝統を次年度に続ける事が出来たと思います。

そして、一年を振り返って、地区大会の千玄室先生の講話の中で、「お先にどうぞ、After You」というお茶の心が、正しくロータリー精神であり、その心を持つことにより、世界の紛争がなくなるものと感じました。



四日市北ロータリークラブ 会長
橋本 浩

「一年を振り返って」

二期連続の会長を受けさせて頂きようやくゴールが見えてきました。当クラブは、今年度創立65周年を迎え、去年までの行動制限等も無くなり、例会そして行事などフルで行う事が出来ました。

創立70周年に向けての足掛かりになるよう例会を大切に、そして親睦を大切に、クラブ運営をさせて頂きました。そして私自身この2年間例会等すべてに参加できたことをうれしく思います。

我がクラブの会員数は一年目 18名からスタートし、二年目は20名からのスタートで現在も21名という事で微増にとどまっています。これからクラブが活性化していくためにも会員増強が必要になります。私の任期もあと二か月余りとなりましたが次年度の会長・幹事に良いバトンを渡せるよう頑張りたいと思います。

会員の皆様に助けていただき、無事に会長の任期を終えることが出来ます事に心から感謝いたします。



四日市南ロータリークラブ 会長
水谷 洋信

「一年を振り返って」

本年度は「行きたくなる例会・来てよかった例会」にしよう！をテーマに進めていこうと決意したことが昨日のこのように思われます。当たり前の事が当たり前になるようになり、これからという時に苦難がやってきました。例会場のホテルが閉館することにより、短期間での新会場探しに引越と目まぐるしく動きました。そんな時でも、会員の皆さんが自主的に出来る事を出来る時にしようとしていただき大変助けられたと共に、会員同士のつながりも強くなったよう感じうれしく思いました。そして、そのつながりは、年会費増額改定という苦渋の決断にも反映していただくことができました。

きっと「行きたくなる」は「微力な会長を助けに行きたくなる」になり、幹事やSSAをはじめとする皆さんのお力で乗り切ることができた大変感謝しています。

また、今年度からホームページも開設できたので、それを活用して次年度へ引き継いでいきたいと思えます。



鈴鹿ロータリークラブ 会長
清水 啓子

「一年を振り返って」

今年一年、会員の皆さんに助けていただき、有意義な一年を過ごすことができました。

「必要なところに必要な支援を」という思いを共有し、委員長、そしてすべての委員会メンバーが1チームになり、一年かけてそれぞれの役割を果たしてくれました。

継続事業としては、小学生の身の安全を守るため、1年生対象に毎年ホイッスルを贈り続けています。また、鈴鹿市立図書館への本の寄贈も毎年欠かさず行っています。

3年前に始めた事業としては、子育て中の貧困家庭に食料品や生活用品等の支援物資を届ける活動を行っています。今後も引き続き継続していきたいと考えています。

今年度の実績として特筆すべきは、翻訳機付きの液晶ディスプレイ「レルクリア」の寄贈です。ロータリー財団の協力を得て、鈴鹿市役所の窓口を設置していただきました。外国籍市民の多い鈴鹿市において、必ず大きな力を発揮してくれることを願っています。

そして、親睦委員会の皆さんには、多くの楽しい時間を作っていただきました。

会員の皆様には、心より感謝いたします。



四日市西ロータリークラブ 会長
早川 昌彦

「一年を振り返って」

会長を拝命し、早いもので1年が過ぎようとしています。本年度当クラブは周年などの記念事業の間でもあり、年当初より会員同士の親睦をより深める年にしようという思いがありました。

「親睦なくして、ロータリーの成長・発展はない」とPETSで篠原ガバナーがおっしゃったお言葉を正に実践できたのではないかと感じております。これも理事はじめ会員諸氏のご理解・ご協力、そして地区のご指導の賜物と感謝申し上げるところでございます。

ただコロナが落ち着いたとはいえ完全に収束したわけではなく、慎重にならざるを得なかったことは事実であります。その中でも年3回の家族会を皆さんに楽しんでもらったことは非常に嬉しく思います。

また、交換学生の受入れや米山奨学生の受入れ、当クラブが独自で行っている短期交換学生の派遣と受入れも無事終えることが出来ました。

皆様、1年間本当にありがとうございました。



四日市東ロータリークラブ 会長
岡本 文浩

「一年を振り返って」

振り返ってみると、かなり早く1年の任期の終わりが近づいています。本年度は当初よりコロナ禍の影響はほとんど無く、コロナ禍前のロータリー活動を取り戻し始める年度となったと思います。

久しぶりのIMの開催もあり、ホストクラブとして大変ではありましたが、会員の結束を再び強める良い機会だったと思います。

ゴードンR、マッキナリー氏の「世界に希望を生み出そう」というテーマも重なる思いでした。そして篠原一行ガバナーの、「奉仕の心を未来へつなげよう」という方針の下、今後の奉仕活動の在り方について会員全員で前向きに考えられた一年でした。前向きに、且つ繋げていく事の難しさを感じられた事は、私の人生にとって良い経験となりました。そのような中、夜間例会や親睦旅行でまず会員相互の信頼関係の再構築を図り、創立夜間例会等ご家族を招いての例会では、会員のご家族とも親睦を深められるように開催されました。

永年続いた奉仕活動の一つが、継続不可能となりそれに代わる事業を模索し続けましたが、何とか本年度中には魅力的且つ有意義な事業案を取りまとめる所存です。クラブの会員の高齢化と減少傾向という事実が続く中、やはり前向きな気持ちになれるには人が原点だと感じました。

クラブの会員増強についても、人が全てだと感じ、付き合いたいと思っていただけのロータリアンがいるクラブであり続ける事が、会員増強活動の基本であると痛感しました。



鈴鹿西ロータリークラブ 会長
江藤 隆仁

「一年を振り返って」

クラブ会長を拝命してまもなく任期満了となります。少し異例の形で会長を引き受け準備期間も不足する中でありましたが直前に幹事を引き受けていましたのでクラブの運営について勉強させて頂いていたのが今となればその経験が良かったのかと感じています。

この年度は地区支援事業の援助を受け地域の子供食堂へ社会福祉協議会を通じて鈴鹿産米1000kgを寄贈するプロジェクトを実施。職場訪問例会を復活開催。関東地区、他クラブとの合同例会(予定)コロナ以前に戻すイベントにも会員皆さんの協力のもと取り組みました。そして数字で残せる目標として【マイロータリーへのクラブ会員登録率】を期初から目標数字を設定して進捗率を確認しながらこの年度末で40%に取り組んでいます。達成が見えてきました。例会運営にも遠方の会員からLINE通話で画像を映しながら卓話をお願いし工夫しながら出席率を上げることへの取り組みも出来ました。

最後に次年度鈴鹿西ロータリークラブは創立40周年の節目を迎えます。過去、現在、鈴鹿西ロータリークラブの多くの先輩方が築いてきた歴史を振り返りながら会員全員で将来へと繋いでいきたいと思えます。

会員の皆様1年間ありがとうございました。



鈴鹿バイロータリークラブ 会長
森田 英治

「一年を振り返って」

我がクラブは、会員数が12名と少ないこともあり、入会5年で会長という要職を経験させていただきました。

昨年度は幹事、今年度は会長と2年続けて要職をさせていただいたことで、ロータリーについて自分なりに理解することができました。また、自分でこれまで行ってきた仕事や活動をいかして当クラブのホームページの更新をさせていただいたり、青少年奉仕活動として会員の皆さんの理解と協力のもと児童養護施設の子供たちへの体験イベントの企画など行うことができました。

さらに、今年度中にF1グランプリが2回開催され、友愛の広場も2回開催させていただきました。

最後になりますが、会員の皆様にはクラブ運営に関しましてご理解とご支援をいただき無事終わることができそうです。

一年間、本当にありがとうございました。



亀山ロータリークラブ 会長
川森 浩司

「一年を振り返って」

当クラブの第33期も10名程度の少人数で運営してきました。大きな活動はできませんでしたが、青少年育成事業として、インターアクトクラブとの連携で、清掃奉仕や募金活動、フェアトレード商品の販売などを行ってきました。フェアトレードやコンフリートミネラルの講習会も実施し、高校生にとって、その理念や意義を再確認したと同時に、世界の貧困や強制労働の実態を認識する機会になったかと思えます。

また、当会員とインターアクトクラブのメンバーで亀山市長との意見交換会を開催いたしました。亀山市への観光集客の提案や、案内マップの整備など、車座で向かい合っただけの懇談は将来を担う若者にとっていい経験となったと思います。提案内容も市長から行政担当部署へ働きかけてもらうきっかけとなりました。

会員増強は今年もかありませんでしたが、例会のあと、有志で食事会を毎回のように重ね、会員同士の親睦は最も深くなった一年でありました。有り難うございました。



鈴鹿シティロータリークラブ 会長
大泉 源道

「一年を振り返って」

うちのクラブの魅力は何？

- ①オンとオフを絶妙なバランスでコントロールできる
- ②ベテランから新人まで風通しが良く居心地がいい
- ③ここぞ！という時に未知の力を発揮し完遂できる所だと感じていました。

これらは、チャーターメンバーの思いにより形成されたものです。昨年25周年を終え、この節目に未来へつなげる基盤づくりが必要と考え、活動方針を『シティらしさを例会運営の中で体現し、魅力として承継する』と掲げ、一年間取り組んで参りました。委員長には担当する委員会について学び、魅力ある例会の提供をしていただきました。また、前半はリラックスタイム・後半は集中タイム・親睦は全力でエンジョイと位置づけメリハリをつけた例会運営もできたと思います。派手な事業こそなかったものの、少しは共に成長できたと思います。お支えいただいた幹事・理事・役員様、そして会員の皆さまに心より感謝申し上げます。一年間ほんとうにお世話になりました。



津ロータリークラブ 会長
加瀬 久照

「一年を振り返って」

私自身がロータリークラブの事を深く知り学んだ上、クラブ会員の皆様は例会で情報を共有し、会員相互の結束力を高め張り張りある和やかな魅力あるクラブ創りを目指せるようにと務めてまいりました。果たして皆様に上手くお伝え出来たのか、自己満足に終わっていないのか少々不安ではありますが、クラブまた関係各位皆様にご指導ご協力頂き1年間会長職を全うできました事、心より感謝申し上げますと共に大変嬉しく思い、今は安堵感でいっぱいです。

会長職はこの1年間で終えることとなりますが、頼りない会長に對しましてご尽力賜りました中垣内幹事様、また事務局員様には大変お世話になりご苦勞をお掛け致しましたこと、お詫び申し上げますと共に感謝申し上げます。

この感謝の気持ちは私の得た経験を今後のクラブのために費やし引き続きロータリー活動に邁進させて頂ければと思います。

最後に、会長と言う役職を頂き大変な1年ではありましたが良い経験となり、人生の大きな財産にさせて頂き心より感謝申し上げますと共に、次年度へ熱いバトンをお渡しさせていただきます。ありがとうございました。



上野ロータリークラブ 会長
山本 禎昭

「一年を振り返って」

本年は創立70周年の記念の年だけでなく、37年ぶりのインターアクトの年次大会(韓国の学生さん含む450名規模の大会)の担当スポンサークラブという大当たりの年となりました。

クラブのテーマを「一歩踏み出し、本気で行こう!つなげよう!」とし、いきなりのフルアクセルでのスタートとなりました。8月1日が大会の日ですので前年度からの企画、準備をし、年度が替わると雪崩のように大会に突入。無事に終わってホッとする間もなく70周年へのスイッチON。会員全員の協力でも何とか終え、心配していた手作りアトラクション「家康の伊賀越」も会場爆笑に包まれて終了。記念事業では「地域のために」に重点を置き、上野天宮への梅木の植樹。まちなかを学生によるシャッターアートの制作。夏井いつきさんによる句会ライブ。コロナから学んだ「非常時支援資金調達・管理センター」の協定締結など80年へつなぐ事業を行うことが出来たと思います。みなさまのご協力に感謝。



名張ロータリークラブ 会長
川口 佳秀

「一年を振り返って」

今年、61年目のクラブになりましたので、更なる飛躍のクラブにするためには、ロータリーの基本に戻るべきで、原点に立ち返って、再検討する必要があります。「原点回帰による不易流行」とさせていただきます。

財団地区補助金を活用して、名張市消防本部にAEDトレーニングユニット、心拍蘇生人形を寄贈し、普通救急資格をメンバーが修得しました。

例会を重視し、卓話(市長、署長)新入会員卓話を行い、夜間家族例会(カラオケ大会)四回開催、合同例会(名張中央RC)四回開催、多治見地区大会(全員登録)と親睦家族旅行(妻籠宿、馬籠宿)、親睦家族例会(バーベキュー)等、思考を凝らし例会充実にも努めました。

家庭集会、親睦会、カラオケ大会(内容変更)継続と新たな試みとして歴代会長会(現役、OB)、四団体協議会(RC、ライオンズ、JC)を開催しました。

シンガポール世界大会は14名の参加で、新入会員は7名の入会をしていただきました。

一年間、ありがとうございました。来年は、ガバナーを輩出させていただきますので、皆様のご協力をよろしくお願い致します。



津南ロータリークラブ 会長
今西 孝彰

「一年を振り返って」

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が、第5類に移行し、クラブの1年の行事が全て以前と変わらず行うことができ安堵しています。

本年度のクラブテーマを「実践しよう、四つのテスト!」としました。これは、ロータリークラブ内に限らず、四つのテストに照らして行動や発言を行いましょうと言う意味を込めて決めさせていただきました。

また、クラブの目標を、

- ・何でも話し合える仲間を作り、その輪を広げましょう。
- ・ロータリー財団、米山記念奨学会を支援するのはもちろんのこと、社会に貢献しましょう。として、クラブ運営を行ってまいりました。

これらのテーマや目標が、十分に達成できたかどうか問われると、回答に窮することになりますが、私なりに一所懸命努めさせていただきました。こんな至らぬ会長でしたが、津南ロータリークラブのメンバーに暖かく応援していただき、何とか1年間やり通すことが出来ました。皆様には感謝の言葉しかありません。誠にありがとうございました。



上野東ロータリークラブ 会長
長谷川 真嗣

「一年を振り返って」

入会して13年……年月が経つごとにロータリークラブの原点は例会であると確信しました。クラブスローガンを『三十九の人三十九の場を始めて～例会の始まらんとす』としました。明治の歌人、正岡子規の『九つの人九つの場をしめてベースボールの始まらんとす』から引用し、三十九人の会員が各ポジションの役割を理解して役割を果たし充実した例会を目指しました。誰一人が欠けてもそれは実現できないという思いで例会に臨みました。私の役割である“会長の時間”にも緊張感を持って取り組みました。まず、自分の考え、主観を明確に決めることと、必ずロータリーの話をする事、この二つを念頭に置いて原稿にまとも事前に戻りました。会員の皆さまも緊張感を持って各役割を実践していただけたおかげで質の高い例会が達成できたと思います。原点である例会を基盤として地域に活動の幅を広げ、地元高校吹奏楽部への楽器贈呈、高校生への就職模擬面接、教育委員会及び図書館と連携し地域の読書感想文コンクールへの協賛、講談師を招き地域住民の方々に郷土への再認識を目的とした講談会の開催、伊賀FCくノー三重のご協力を得てのU9サッカー大会の開催など地域活性化を目指した事業も無事終わることができました。あらためて各事業にご協力いただいた会員の皆さまに心より感謝申し上げます一年の振り返りとさせていただきます。



名張中央ロータリークラブ 会長
市川 裕規

「一年を振り返って」

オリンピック開催ペースで、二度目の会長職を仰せつかりました。一度目の会長時には、予想すらしなかった新型コロナ禍が襲来し、例会が長期間休会になるという事態にも見舞われました。結局、2020年に入ってからは、新型コロナで身動きがとれず、消化不良なまま時間だけが過ぎた会長年度となってしまいました。打って変わって今回は、2023年5月に新型コロナの分類が5類に移行したこともあり、久しぶりに、一年を通して、クラブ活動が正常化できた年度となりました。本稿執筆時点では、まだこれからの話となりますが、今回は無事完走できそうです。また、前回会長時には実行に移せなかったオープン例会を5月に実施します。持続可能なクラブであるためには、やはり新たな仲間が必要です。オープン例会が、その一助になればと切に願っています。

最後に、中野幹事を始めとする会員、ご婦人の皆様、また事務局の森垣様に支えられたこと、深く感謝申し上げます。



津北ロータリークラブ 会長
東 和生

「一年を振り返って」

一年を振り返って一番の感想としては、コロナの影響もなく、いろいろなロータリーの行事のみならず、ロータリーの会長として招待された外部の行事等が完全に復活したことにより、たくさんの貴重な行事に参加させて頂き大変有意義な経験をさせて頂いたことです。

その中の行事で、ロータリーの友3月号に掲載された高田高校仏青インターアクト部と共同でチャリティーバザーを行い収益金を「三重のいのちの電話協会」に寄付した行事と、三重大学病院小児科に病氣と闘う子供達のお役に立てる備品ということで、今年は中学生の子供が勉強する為の机や休憩できるソファを病院内スペースに寄付をした行事で贈呈式を行いました。いずれも地元のテレビ・新聞に報じられたことで当クラブの活動をPRできたことが印象深いです。また、今年度から毎月第1例会日に会員の華道の先生のお花を誕生日等のお祝いとして贈ることとし、そのことが会員の親睦を深めることに役立ったと思います。

最後に幹事をはじめ会員の皆様、事務局員様に大変お世話になり感謝申し上げます。



久居ロータリークラブ 会長
中川 信之

「一年を振り返って」

会長としての1年のスタートは、不安な気持ちで始まりました。前年の会長より引継ぎ、次年度の会長に繋げるために当クラブの状況がその時の世の中に合ったクラブとして活動できるようにと思いながら過ごすことを考えていました。それを行うには、ロータリーを自分が十分理解していないことが分かっていたので、例会での会長の挨拶を自分がロータリーを理解するために、これだけは知っておきたい「ロータリーの基礎」の書籍から、会員の方々が私の説明が納得できるようにと自分なりに理解して話してきました。私のこの時間が、解っている会員は復習として、あまり理解されてない会員には少しでも参考になりプラスにと思って行いまして自分のロータリーとして理解するために時間を使いましたことに対してお礼を申し上げます。

1年間の中で毎年行われる行事に今回はIM、ポッチャ大会が行われました。ロータリーは、素晴らしいクラブと感じたのは、色々な職種の方がみえますので、行事を行うにあたって、十分な意見交換を行えば準備など行事当日には、素晴らしいものになっていることに感動しました。会員同士のつながりが日頃から良ければ、会長としての大変さは少ないとも感じました。でも会長としての用事はたくさんあって自分自身の日常業務を考えて時間を作らなければいけないという大変な所はありました。会長職として皆さんの支えがあって経験できたことは、よかったですと思っています。皆様の支えに対して感謝申し上げます。



松阪ロータリークラブ 会長
中川 哲夫

「一年を振り返って」

新型コロナウイルスの影響で3年半ロータリーの例会・事業が休会、縮小を余儀なくされてきた事が何度もありました。本年度はコロナ禍前の状態に戻す事と会員の親睦を深めることを目標としましたが、現時点においてすべての例会を開催することができ、残り数回の例会も開催できそうです。また、親睦も深める機会も作ることが出来たと思います。各例会を担当していただいた委員会の皆様に改めて感謝申し上げます。

「会長報告はロータリーの話を入れるように」とPETSで指導を受け、RIの歴史・米山梅吉翁を通した日本ロータリーの歴史・職業奉仕・決議23-34・ポリオプラス等を会長報告で話してきましたが、上手くお伝え出来たかどうかは分かりません。ただ、私自身のロータリーに対する知識・想いは深くなったと感じています。

最後に会長職を支えて頂いた、幹事・理事会メンバー・会員の皆様そして事務局員には大変お世話になり心より感謝申し上げます。



松阪東ロータリークラブ 会長
西川 直樹

「一年を振り返って」

会長就任直後に届いた、ゴードンR・マッキナリーR I 会長からの動画メッセージの影響を受け、メンタルヘルスを意識しつつ「皆さん、最近はいかがですか？」と声をかけ続け、やがて1年が経とうとしております。

コロナ禍で思うように活動できなかった数年間、入会の浅い会員の皆様を歯車の中心として再稼働させることが本年度の私に課せられた使命と心に刻み、私自身が苦手(?)なロータリーの理念を伝えるとともに、明るく活気ある例会や事業に取り組んでまいりました。共に歩んでいただいた、幹事をはじめとする理事の皆様、会員の皆様、また事務局員さんには大変お世話になり、言葉に表せないぐらい感謝の気持ちでいっぱいです。

当クラブはどこに出しても引けを取らない素晴らしいクラブであると自負しております。会員の皆様に与えていただいたこの貴重な経験を、今後更なるクラブの発展に役立てるよう微力ながら支えて参ります。松阪東ロータリークラブの友情に感謝!!



熊野ロータリークラブ 会長
大崎 順敬

「一年を振り返って」

昨年、創立50周年が無事終了し、また新たな年のスタートとなり、会長を仰せつかり身の引き締まる思いで1年間を過ごしてまいりました。諸般の事情により、熊野RC初の2回目(9年ぶり)の会長をさせていただきました。

今年度は、テーマにも掲げさせて頂きましたが「Enjoy Rotary」として、親睦・奉仕を基本に1年間活動させて頂きました。またサブテーマにもございます、ロータリアン各人でロータリーの楽しさを1年かけて探してほしいと考えました。

9月には、アシスタントガバナー輩出クラブとして松阪東紀州グループの「インターシティミーティング」を開催させて頂きましたが、これもまた、親睦を中心に、有意義な時間を過ごせたのではないかと思います。超我の精神を軸とし、基本的概念にある、「意義ある事業の基盤として奉仕の理念を推奨し、これを育むことにある」を実践してきました。1年間、ご協力いただいた、山口幹事を筆頭に、クラブの会員の皆様にご協力を賜り無事終了することが出来たことを、あらためて感謝申し上げます。



尾鷲ロータリークラブ 会長
西 謙一

「一年を振り返って」

今回で5回目の会長職でしたが、過去4回と違い非常に緊張し、充実した1年を過ごす事が出来ました。私が入会した20年前とは比べ物にならないほど例会は充実し、会員相互の信頼と尊重心であふれています。

会員増強についても、まず地域の方に「ロータリー活動とは」を知っていただくことが大事であろうと「地域に根付いた活動」を行い、毎年何回かは地元紙を賑しています。

過疎化が進んでいるからこそ現会員の退会をなくし、地元新聞にその活動を取り上げていただき、ロータリーに興味を持っていただくことが会員の増加につながるものと信じています。会員一人一人が思っていることを披露し、取り上げていく事が大切であろうとも考えます。今までの素晴らしいロータリー活動を、これからも身近な活動を地道に行うことにより、より輝かす事が出来るよう今後の活動に期待します。

11名の会員に改めて期待するとともに、この一年私を支えてくださったことに感謝いたします。本当にありがとうございました。



松阪山桜ロータリークラブ 会長
山下 茂紀

「一年を振り返って」

令和5年5月8日から、コロナウイルスも5類感染症に変わり、当クラブもいよいよ実践の時を迎えました。2023~24年度の奉仕活動として、以下の活動を実施いたしました。

- ① 9月10日: 姉妹クラブ岐阜淡墨ロータリークラブとの合同例会。
- ② 11月3日: 社会奉仕活動として、盲導犬育成のための募金活動(総額135,606円)を行い、盲導犬協会へ寄付。
- ③ 11月26日: インターアクト三重県グループ協議会を松阪市内でホストクラブとして開催。
- ④ 4月11日: 台湾板橋西區扶輪社との国際奉仕活動で合同例会を実施。
- ⑤ 5月3日: 台湾板橋西區扶輪社の31周年記念祭に参加。
- ⑥ 米山奨学生パトライ・マノズ君を受け入れ。

これらの奉仕活動は、幹事をはじめ会員のご理解とご協力のおかげで実現しました。一年間ありがとうございました。心から感謝申し上げます。



伊勢ロータリークラブ 会長
大隅 守

「一年を振り返って」

会長という大役を引受させて頂き一年が過ぎました。今になって反省すべき所(沢山あります)や今後の課題もみえてきましたが、周りの皆様に支えられて何とか最後を迎える事が出来ました。

私自身ロータリークラブの精神や意義、目指すべきもの等何も分からず、ガバナーの方針やスローガンも理解せぬまま気軽にスタートいたしました。コロナ禍の時、中止や短縮が続く活動が制限された事も多かったため、当初は以前の状態に戻るまで少し時間がかかると感じていました。しかしながら例会への出席者やビジターも増え、会員同士の交流もコロナ禍前以上に活発になり、会員のロータリークラブに対する思いを感じられるようになりました。

やはりみんなロータリークラブが好きなのだ。私にとって大変貴重な一年でした。皆様、有り難うございました。



鳥羽ロータリークラブ 会長
中村 正人

「一年を振り返って」

鳥羽ロータリークラブは今年60周年を迎えました。クラブテーマは「軌跡~そして走り出す」です。多くの先達の皆様がロータリーを築き上げて来ました。運転手(会長)は毎年代わりますが、奉仕の気持ちを車に沢山詰め込んで事業をしてきました。

地区へのガバナー補佐の輩出の年、近隣クラブのIM事業、60周年記念式典・記念事業開催の年でもあり非常に重要な年度でした。約3年間世界がコロナ禍により自粛、中止、経済は勿論、ロータリークラブの活動も出来なかった状況から、一気に活動が出来ることの喜びと疲れの入り交じった年でしたが、篠原一行ガバナー、亀井喜久雄ガバナーエレクト、各第2630地区のロータリアンの皆様と直に交流する機会が再び訪れ楽しい一年でした。

中でも、60周年記念事業「水の惑星70%」ココリコ田中と学ぼうIN鳥羽水族館では、未来の子どもたちへ海を守るという大切さを体験して学ぶプログラムとして、鳥羽水族館スタッフの方とココリコ田中氏とのトークショーで海の生態系や海洋環境問題を様々な角度から学ぶ事ができたのではと思います。子どもたちにとって身近な海を守っていくために何が必要なのか理解する場となったと思います。

メンバーが丸となって走って、新たな軌跡を残したこの一年に感謝申し上げます。



伊勢南ロータリークラブ 会長
中西 猛

「一年を振り返って」

「光陰矢の如し」の故事どおり、アツという間に会長任期の一年が過ぎ去ろうとしています。

会長拝命時に今期の目標として、コロナ等で停滞気味であったロータリーの基本でもある「奉仕活動」に重点を置き、会員さんのご協力のもと、各種奉仕活動を遂行して参りました。

中でも、子ども食堂&ミニクルーズはロータリーの友にも取り上げていただき、記録としても残せたことが幸いです。ただ、コロナ明けということもあり、各種行事が復活し、多忙を極めた上半期でもありましたが、多治見での地区大会を機会に、近隣クラブの皆さんや多治見リバーサイドクラブの皆様とも親交が深められたことが宝物と思っています。

まだ、少しの時間が残っていますが、クラブ員をはじめ、ご協力並びにご尽力賜りました皆様に、深く御礼申し上げます。一年間ありがとうございました。



志摩ロータリークラブ 会長
向井 澄子

「一年を振り返って」

今年度志摩ロータリークラブのテーマを「笑顔をつなごう、未来のために」と掲げ、地域の子どもの安心・安全を守り、また笑顔にするにはどういった活動が出来るかを考えた一年でした。

その中で実施できた事業は、阿児アリーナにおいての地域の消防署・警察署・海上保安部の協力を得て子どもたちの日頃の安心・安全を導く講習会、子ども食堂・フードバンク等を実施し、地域の皆様に喜んでいただいたのは私たちにとっても意義のある事業でした。また、この地域ではなかなか身近に触れることのない新日本フィルハーモニー交響楽団のメンバーによる九重奏音楽会を開催し、地域の皆さんに喜んでいただきました。

このように有意義な一年を会長として務めさせていただけたのも、会員皆さんの篤い協力があってこそのことと心より感謝し、今後はまた一会員として惜しみない協力をして行きたいと思っております。一年間ありがとうございました。



伊勢中央ロータリークラブ 会長
竹中 徹

「一年を振り返って」

一年を振り返り、私ながら総括してみると、職業奉仕・国際奉仕・社会奉仕・クラブ奉仕・青少年奉仕を通じて様々な活動をしてきました。多数の活動を通じて学ぶことの多い一年でありました。ロータリークラブの活動の中心となる、奉仕により、私自身奉仕の重要性を改めて気付いた1年でもありました。

本年度、我々クラブにおいては、会員の親睦・増強・例会をテーマとして参りました。例会を公開例会にし、会員のスピーチ日程を増やし、食事時間をゆったりとり、会員間の交流を深めることを大切にしました。

またこれからのロータリー活動を担って頂くための会員の増強につきましても、会員皆様の御協力頂きながら、本年度は7名の方にご入会いただくことができました。

本年度の地区方針「奉仕の心を未来へつなげよう」の目標達成をめざし努力した一年でありました。

新たな新年度には、より一層充実したロータリークラブの活動を実践するため、会員相互の惜しみのない奉仕活動が求められるかと思えます。会員同士の「親睦」をより一層深く、価値のある奉仕活動と社会に開かれたロータリークラブの活動を実践することによって、ロータリアンとしてより一層の成長、発展の時間を共有していきたいと考えます。



伊勢度会ロータリークラブ 会長
村田 春喜

「一年を振り返って」

本年度、当クラブにおける強調事項を「例会」「会長の時間」「研修」に据えて取組んできました。この三つのキーワードを毎週の例会にどのように活かしていき、会員の方が「今日も例会に来て良かった」と言って頂けるように努めてきました。

「会長の時間」では、「俳句を通じてロータリーを考える」というテーマでお話をしてきました。俳句を通して自己と向き合う姿勢をロータリー活動にからめたスピーチしてきた結果、会員の方から一定程度の共感の声を頂きました。また「例会」においては、ロータリアンとしての倫理について考えるディスカッションの場を設定しました。「星野君の二塁打」等の題材から倫理観の本質を語り合ったことが、会員相互の学びにもなったのではないかと思います。

「研修」については、研修リーダーから卓話を頂きましたが定期的な研修にならず今後の課題となりました。今後も魅力あるクラブに向け引継いでいきます。

岐阜県



GIFU



岐阜ロータリークラブ 会長
村瀬 幸雄

「一年を振り返って」

早いもので任期もあとわずかになりました。

今年のR1会長テーマは“世界に希望を生み出そう”ですが、残念ながら世界は平和に向かうどころか、戦争・紛争が激化しています。そのような中、地区大会でロータリアンでもあられる千玄室大
宗匠の“平和への願い”のご講演が印象的でした。

さて、コロナも明け岐阜RCにおいては、最も大切にしている例会をはじめ、節分、家族旅行など毎年の恒例行事も元のように開催出来ました。そして、次年度90周年を迎える岐阜RCへの橋渡しとなる1年でした。様々なロータリー活動をはじめ、安定したクラブ運営基盤づくりにつきましても、副会長、幹事、理事ならびに会員の皆様に支えて頂きました。

最後に、何よりもこの一年、私自身がロータリー活動への理解が深まったこと、自分が成長できたことを関係者の皆さまに心より感謝申し上げます。誠にありがとうございました。



岐阜西ロータリークラブ 会長
山田 武志

「一年を振り返って」

はやいもので会長を拝命して一年が過ぎようとしています。

前年度よりクラブ運営における新型コロナウイルスの影響は薄れていましたが、我がクラブの力を入れている国際交流が完全に復活した年度となりました。会長就任前の6月には、韓国天安RCに団長として訪問、交流を深めました。11月には台湾新營RCをクラブ会員と共に訪問しました。新營扶輪社は創立60周年の記念式典、祝宴でしたが、フィリピンのクラブや日本からも2750地区秩父RCの皆様、2690地区大田RCの皆様と共に参加し親睦に努めました。今、8月に行われる韓国青少年派遣事業の準備を進めています。

ロータリーの目的のひとつに、国際的理解を深め、親善につとめ、平和を推進する使命ということがあります。我がクラブはこの国際的な友情の輪をつなげていきます。



岐阜長良川ロータリークラブ 会長
杉本 三男

「一年を振り返って」

昨年7月に会長に任命させて頂いてから早いもので任期を終えようとしています。

会長方針として会員一人一人が楽しく有意義にくつろげる例会、当クラブの伝統と習慣を継続し、会員が親睦・友情を育む例会を目指し頑張ってまいりました。

この一年会長として色々な所に出席させて頂き新たな出会いもあり沢山の事を学ばせていただき、反省することも沢山ありました。幹事、役員を始め会員の皆様の協力のご理解により任期を終えることができます。

この一年大変お世話になりました。有難うございました。



岐阜北ロータリークラブ 会長
林 隆行

「一年を振り返って」

昨年3月にPETSを受講してから早1年が過ぎ、会長の任期も終えようとしております。本年度は、コロナの影響もなく無事にプログラムを実行する事が出来ました。これも幹事、理事役員の皆様、会員の皆様のご指導、ご協力がある事の事だと思えます。改めて「ロータリーの友情」に感謝いたします。

あまり深く考えぬまま会長職を受けてしまいました。各種セミナーの参加や会長挨拶で少しでもロータリーに関する事を話そうと過去の出来事などいろいろとロータリーについて勉強できた1年でした。今後も更なる勉強と理解をしていきたいと思えます。

今期残念な事として、退会者を数名出してしまった事です。これは、年齢によるものと、入会年数の浅い会員でしたが、もっとロータリーの魅力や楽しさをアピール出来れば良かったと反省しております。今後は更なる会員増強と親睦に努めたいと思えます。

今期1年間とても貴重な体験をさせて頂き、皆さまには大変お世話になりました。ありがとうございました。



岐阜中ロータリークラブ 会長
藤吉 一郎

「一年を振り返って」

会長という大役を賜り、ノミニーの後半6か月から少しずつプレッシャーを感じるようになりました。一番の課題は少ない予算の中でどのようにやり繰りして赤字決算にしないかという問題でした。不本意ながら例会数を削減し、ホームグラウンドである「都ホテル岐阜長良川」から会場を変える持ち出し例会を数回することにより予算立てをいたしました。

一番のメイン事業、鮎菓子体験と日本遺産を考える機会をおおよそ300名の親子に体験してもらい大成功？に8月6日に早々と終了したことは良かったと思っています。

未熟な会長で何かとメンバーの皆様にはご心配をおかけしたことを思います。こんな私を支えてくださった幹事、副会長、会計の三役の方には感謝申し上げます。

振り返ればあっという間のように感じる1年でありました。他クラブの会長幹事様にも仲良くしていただき感謝申し上げます。ありがとうございました。



岐阜南ロータリークラブ 会長
松波 和寿

「一年を振り返って」

現時点では残り3ヶ月ですが、はや3/4が過ぎたことを実感します。次期理事役員会の活動が活発になり、次年度に向けての岐阜南ロータリーの未来像が見えてきます。今年度は会場費の値上げ等あり、断腸の思いで会費の値上げに踏み切りました。現状の活動を続けるために会費を上げるのか、会費を据え置き活動を削るか、様々な意見が聞けました。岐阜南ロータリーらしさ、ロータリーの品格はどうあるべきか、考えさせられました。ロータリーが対外的に奉仕活動を続けるにはロータリアンの多様性を受け入れクラブの団結が不可欠だと実感しました。意見が食い違うのは当たり前の事です。例会の挨拶、これは重要な会長の務めですが結構大変ですね、会員の反応を楽しみながらやっています。ロータリーを学び知ることが大切ですが、いろんな役につくと必然的に勉強するようになりますね。

私は次年度、AGとして皆様のお世話になります、よろしくお願ひします。



岐阜東ロータリークラブ 会長
吉川 康彦

「一年を振り返って」

就任時にクラブテーマを「ようこそロータリーサロンへ」とさせていただきます。私が目指したのは、岐阜東ロータリークラブ史上最高に気楽に出席できる例会でした。散会後には笑顔で職場に戻っていただく、そんな思いで運営を心掛けてまいりました。

一番の思い出は、クラブ55周年イベントとして、市内美江寺公園の今も生き続ける戦災樹木を顕彰し、「平和を希求する」プレートを岐阜市に寄贈できたことです。この事業を推進していただいたのは、浦田益之パスト会長です。その際、ロータリアンの矜持として「世界平和の実現に貢献する」ということを改めて叩き込んでいただき、目の覚める思いでした。感謝の念に堪えません。

この一年、円滑にクラブ運営できましたのは、菅原幹事はじめ各委員長様、会員の皆様のご協力あったればこそです。皆様には心から感謝申し上げます。



岐阜東南ロータリークラブ 会長
藤井 達郎

「一年を振り返って」

今期は、クラブから岡部ガバナー補佐を輩出し、BグループのIM・合同例会を主幹事として開催するところからスタートさせて頂きました。Bグループの皆様には、多大なる御協力を頂き、コロナ明けフルスペックでの開催ができました事、改めて御礼申し上げます。来期には、インターアクト年次大会のホスト、クラブ創立50周年式典開催という大きな行事が予定されている為、今期はその準備の一年と位置付け、次期への橋渡しを主題とし、クラブ組織・行事の刷新はあえて行いませんでした。その中で「プラスワン」今までの活動にちょっとしたエッセンスを付け加え運営しましょうと、この言葉を一年の合言葉として呼びかけてまいりました。出来た事、もうひと工夫できたら良かった事等反省点はありますが、友好姉妹クラブ台湾佳里RCに5年ぶりに訪問し、親交を深められた事は今期での大きな「プラスワン」となりました。

最後に、会員皆様には、この一年多大なる激励・御協力を賜り、何とかこの大役を全うする事ができました事心より感謝申し上げます、私の報告とさせていただきます。



岐阜加納ロータリークラブ 会長
平松 洋一

「一年を振り返って」

今期の基本方針を、『奉仕プロジェクトを実践し、ロータリーを楽しむ』です。以下の『三つの約束』を会員のみなさんに約束し、共に実践してまいりました。

【約束1】ロータリーは「親睦に始まり親睦に終わる」。特に「親睦例会」の三年ぶりの開催にて、米山記念館での例会の実施ができました。また夜例会という特異を生かした親睦例会を基本に 伝統ある奉仕活動をすべて事故なく開催できました。

【約束2】奉仕プロジェクトを実践し、ロータリーを楽しむ。特に地区補助金の申請事業として、「岐阜市の子どもたちを対象にした『仕事探検隊』」を立上げ、会員の仕事や職場体験を行い、『働く』ことの意義の発見、さらには、子供たち自身が『自分の未来』を考えるきっかけになればと…。そんな機会を創ってまいりました。

【約束3】充実した新会員研修を実践する。入会3年までの新会員を対象に新会員研修会(ラウンドテーブル)を実施してまいりました。

改めまして、47期会長として、その責務を果たすことができたのは、当クラブのメンバーをはじめ、皆様のおかげです。感謝申し上げます。



岐阜エトスロータリークラブ 会長
田口 真也

「一年を振り返って」

会長に就任した時に2つの目標を掲げました。

一つ目は、夜間例会の復活です。理事会のある例会以外は夜間とし例会出席率の向上を図りました。二つ目は、最終例会はコミュニケーションを図る為外部例会とし岐阜市近辺の居酒屋や会員OBのお店で例会を行う事です。

一つ目の夜間例会では時間に追われることなく例会を進行することができたと思っております。次年度も引き続き夜間例会を継続していけたらと思っています。二つ目の外部会場での例会では、コミュニケーションを図る事が目標でしたが思いのほか出席率が上がり決まったメンバーしか参加できておりませんでした。反省点としては参加意思を直接電話かけアポイントを取るべきだと感じ担当役員とコミュニケーションをとるべきだったと反省しています。また、例会時での式次第内容も含め再考案し実りある例会にしていける必要があると思っています。

次年度からは、次期会長の方針もありますがまずは例会出席の率を上げられるように尽力していきたいと思っています。



岐阜城ロータリークラブ 会長
堀江 大典

「一年を振り返って」

昨年7月に第30代会長を拝命して、明るく元気で楽しい例会作りをモットーに、1年間無我夢中で走り続けました。

特にこの3月には、事業が続き、クラブ創立30周年記念式典、そして地区補助金を使つての「岐阜城・金華山について語り合う会」の実施は、当クラブ名である岐阜城について深く掘り下げ、岐阜市長柴橋様をはじめとする岐阜城を愛する著名な皆様とのコラボした催物でした。本事業の参加者から多数のご称賛頂きましたことは、「ロータリアンとして地元で少しでもお返しが出来たら」と会員一同の願いが実現できたと思っております。

会員の皆さん、事務局さんこの1年間、誠に至らぬ会長にお付き合ひ頂きまして、心より御礼申し上げます。ありがとうございました。



大垣ロータリークラブ 会長
今川 喜章

「一年を振り返って」

コロナ禍で4期に亘り歴代会長が大変ご苦労された後を受け、5類以降となった今期はお陰様で不自由の無いクラブ運営を続ける事が出来ました。

今期のキーワードは「集う喜び再び」としましたが、例会はもちろん奉仕活動や親睦行事もご担当頂いた各委員長様方のご尽力により、毎回多くの会員の皆様に参加して頂ける活力あるクラブ運営が出来たと感じています。

また長らく休止していた交換留学生プログラムも再開し、オハイオ州への派遣とオーストラリアからの受入れを実施中です。これらの活動は会員拡大にも好影響となり、会員数は期初対比で6名の増員を果たす事が出来ました。

この一年間、理事役員並びに全会員の皆様の絶大なご支援ご協力のおかげで無事に第73期会長の務めを果たすことが出来ました事を、心より感謝申し上げます。一年間、本当にありがとうございました。



大垣西ロータリークラブ 会長
浅野 総一郎

「一年を振り返って」

コロナウイルスの影響でこの数年間は様々な障害がありました。本年度はその影響もなく予定通りの活動ができたことに心より感謝申し上げます。会員増強におきましては全会員の努力によって当クラブ初の女性会員を含む、多数の新会員をお迎えすることができました。また篠原ガバナー、中村ガバナー補佐によるご指導、岐阜西濃グループ各会長との交流や意見交換、地区委員長はじめ関係者の皆様には大変お世話になりました。

R1テーマ「世界に希望を生み出そう」、そして地区方針「奉仕の心を未来へつなげよう」について、様々な世界情勢や災害などを考えた時、本年度だけではなく常に心に置いて活動してまいりたいと思います。多くの新会員をお迎えできましたが、そこで満足するのではなく真のロータリアンを育てていくことが、クラブの価値につながってまいります。会員皆様に今後もお願い申し上げるとともに、一年間の多大なるご協力で改めて感謝申し上げます。ありがとうございました。



本巣ロータリークラブ 会長
廣瀬 功

「一年を振り返って」

昨年7月に本巣ロータリークラブ第56代会長を拝命して以来、早いもので任期も残り少なくなりました。会長就任後、ロータリークラブでの活動を通し諸先輩方の足跡と、その後のクラブの発展及び地域社会との関わり合いの深さを、改めて認識させられています。

会の運営も、幹事経験もなく不安であった私を、桑原幹事を始めとした会長皆様方のご協力により、順調に進めて出来ました。

『誇り高きロータリアンになろう』をテーマに掲げましたが、本巢地域への様々な伝統に対する参加支援を通し、地域でのロータリアンとして、誇りを持てる存在でいられたかと思えます。また、姉妹クラブである台湾彰化西北RCとの交流を通し、国を超えてのロータリアンとしての誇りも感じています。

会員数の拡大を心がけてきましたが、今期は果たせず、諸事情により離れられた会員の補充がかなわなかったことが心残りです。今後も、会員増強には努めたいと思っています。



羽島ロータリークラブ 会長
柳原 望成

「一年を振り返って」

羽島ロータリークラブは設立57期を迎えております。「コロナ終息に於いてロータリー活動をどう進めるか」コロナ明けですべての行事が行われ、忙しい日々で例会を開くことが当然でありました。マスクなしで会員の皆様のお顔を拝見できる例会が再開しました。

会長の活動計画としては、会員増強、青少年への奉仕活動の二つを重点項目として活動しました。現在会員数は34名であり、その中で55才以下の若手会員が7割おりこれからの羽島RCは未来の活動的な様子が見られます。会員増強の目的で夜間例会と懇親会を行い、将来的に羽島RCへの入会候補者を数人確信しました。また、コロナで活動が休止されていた羽島北高校インターアクトクラブとの交流が始まり、羽島駅前清掃の社会奉仕活動に高校生が参加し、一緒に活動出来たことに安堵しました。

私自身は大病しまして年末年始の3か月間、例会出席ができず残念な思いをしました。



不破ロータリークラブ 会長
脇田 尚典

「一年を振り返って」

今年度は、例会や活動を通常に戻し、一年間無我夢中で努めてきました。コロナ禍でこれまでの常識や価値観が大きく揺さぶられ、私たちの生活様式に変化が生まれ新日常へと移行し、我慢の期間でした。我がクラブテーマは「前進と報われる社会」を掲げ、耐えたその期間を力とし、クラブ員全員で奉仕の実践や、より強い会員間の結束を図り親睦にも力を入れました。例として夜間ファミリー例会や、地元バンドを招き夜間例会の開催、スピーチコンテストも今年は、地元学校の協力のもと盛大に開催しました。しかし例会は大雪で一回休会を余儀なくされ、メンバーの上田会員がお亡くなりになるという大きな出来事がありクラブにとって大きな損失となりました。ご冥福をお祈りいたします。会員増強では、来年度待望の女性会員が入会予定です。コロナ禍で環境や技術が大きく変化した今、私たちに何が出来るかよく考え、さらなる飛躍と社会貢献の実現を次期に受け継ぎたいと思います。一年間有り難うございました。



大垣中ロータリークラブ 会長
河合 伸泰

「一年を振り返って」

中村AG輩出岐阜西濃グループIM担当、クラブの創立40周年の会長を、身の引き締まる思いでお受けしました。これだけの大役を運営するにあたり、経験豊かな先輩方の応援と、若い世代の意見を取り入れ、会長就任時には全力で駆け抜ける覚悟で、準備をエレクト年度に入る前からスタート致しました。当時はまだコロナ禍で、感染防止に努める時期でしたので、計画準備には、チャンスと捉え、記念例会、IM、ポリオチャリティゴルフ大会、1泊2日の旅行等、早めに日程を調整しどんどん仮予約をし、エレクト年度に入り、日程を早めに確定し、各方面に依頼やお願いに回りました。

PETSを受講し、年度の方針として『新たな時代に、ステップアップ 中ロータリーの輪を広げよう』を決定しました。

クラブの例会が簡素化され、奉仕活動も縮小される中、クラブが一丸となって輪になれば、結果は出せると信じ、全力で走り、充実した1年でした。クラブの皆様、有難うございました。



大垣センチュリーロータリークラブ 会長
清 正光

「一年を振り返って」

ご指名いただいたときからいざ期が始まるまでも早いと感じましたが、今思えば毎回の挨拶には悩まされつつも始まってからのの方が早かった気がします。伊藤幹事はじめ役員、委員長の皆様に潤滑に会務を運営していただき感謝しています。また、会員の皆様には、あぶなっかしい会長を温かい目で見守っていただき、皆様が1年大過なくお互い元気に例会で挨拶できたことを有難く思います。

大垣センチュリーロータリークラブは今期35期目をむかえ人間でいけばまだ青年です。会の雰囲気も青年らしく明るく結束力が高いクラブです。今期もその良さを高めるべく多くの親睦会を開催し、また、青少年事業では2回目となるコンサート形式での事業を行い多くの青少年の皆様に来場いただきました。

来期はさらに形をかえてより質の高い持続可能な青少年事業になる予定です。35周年の記念の期を迎えさらに進化発展していくクラブの一員であることを誇りに思います。ありがとうございます。



岐阜淡墨ロータリークラブ 会長
上村 聖二

「一年を振り返って」

早いもので第32期会長を拝命して、もう一年が過ぎようとしています。2度目の会長ということで、1度目からの11年の経験を活かして一年間走って参りました。

今年会長テーマ「ENJOY ROTARY -ロータリーを楽しもう-」を掲げ、ロータリーの基本である「会員相互の理解と親睦を深める」をモットーに重点目標を

- ①会員増強・維持・退会防止
- ②クラブの3年後の未来を創造する
- ③リーダーとなる人材を育てる

としてきました。特に新会員へのロータリーの理解と楽しさを感じてもらえるよう、コミュニケーションをとる機会を増やしてきました。ロータリーの理解、意義、遣り甲斐など、少しはロータリーを身近に感じて頂けたのではないかと感じています。

大変ならない会長でありましたが、盛り立てて頂きました幹事をはじめ、理事役員の皆様、会員の皆様に感謝の気持ちでいっぱいです。有難うございました。これからも、少人数クラブではありますが、引き続きクラブを盛り立てて行きたいと思っております。



岐阜サンリパーロータリークラブ 会長
藤井 慎哉

「一年を振り返って」

会員の皆さん、事務局さん、幹事さん、多くの方々のご支援により、会長職を全うすることができました。誠に有難うございました。私の中で想い出深いイベントはいくつもございますが、絞って申し上げます。

第一に、昨年(2023年)8月に実施した「岐阜県立海津明誠高校における模擬面接官」です。校長先生をはじめとする先生方から、「今回の模擬面接は大成功でした。今後も続けて行きたいです。」という言葉を受けました。この活動はIMで発表の機会を頂戴し、多くの会員の皆さんへ自信を持って報告させて頂きました。

第二に、昨年10月にインターアクトと「協働」で実施した募金活動(ポリオ撲滅運動@海津市産業感謝祭)です。多くの方からたくさんの募金を頂戴しました。小さなお子さん達が、親御さんに恥ずかしそうに「募金箱にお金を入れたい」と言って、可愛い手で募金してくれました。とても爽やかな気持ちになりました。

今後も意義ある活動に携わって参りたいと思っております。1年間、大変お世話になりました。心より感謝申し上げます。



多治見ロータリークラブ 会長
河地 勝彦

「一年を振り返って」

まずは私のような若輩者が歴史あるこのクラブの会長という大役を1年間全う出来たのも皆様のご指導とご協力のおかげです感謝申し上げます。

この1年私は「Smile ~ 未来へ続く笑顔 ~」をテーマに社会に大きな傷跡を残した新型コロナウイルスによるパンデミックからの日常を取り戻しよりコロナ禍以前より良い社会にしていくには「子どもたちの(smile)笑顔」を取り戻すことこそが優先して行うべきことであると考え、次世代育成を最優先事項として運営に取組んで参りました。

それを象徴する事業として12月には「将来マナビジョン」を行いました。近年、行動制限により子供たちが楽しみにしている様々な行事が縮小もしくは中止を余儀なくされてきました。今年度は5類に移行したことで様々な制限が緩和され、子どもたちの笑顔を取り戻し、未来へつながる希望を持つことの出来るような事業をとる思いからでした。様々な関係諸団体様のご協力も仰ぐことができ、事業後には「僕、私はこんな職業に就きたい」と友達同士笑顔で語り合い、家に帰っても家族に話しそれを聞いた家族をも笑顔にできるそんな事業であったと思います。

最後にこの様な子どもたちの笑顔が未来まで続くことを祈念致しまして退任あいさつとさせて頂きます。1年間ありがとうございます。



中津川ロータリークラブ 会長
安藤 正樹

「一年を振り返って」

中津川RCは、地区補助金をいただき10月8日に「まちなか文化祭」を開催しました。市内5つの高校、中津川市と関係のある4つの大学の参加を得て当日は参加者300名、来場者3500名で盛況に開催でき、各高校・大学の皆さんのパワーが感じられました。

またR13360地区 タイ国ランナーチェンマイRCと「グローバル補助金事業(no.2346587)バンメーデーコミュニティのための山水濾過システムと学生のための安全な飲料水システム」プロジェクト(予算合計\$36,779)に援助国として\$4,774を拠出し\$21,960の貢献ができました。5月の現地視察で事業を確認しました。

今年度ガバナーは篠原一行君(多治見リパーサイドRC)、さらにガバナー補佐は丸山充信君(中津川センターRC)ということで、中津川RCは地区大会へ71名の登録、IMにも36名の登録と地区に協力させていただきました。



瑞浪ロータリークラブ 会長
熊谷 隆男

「一年を振り返って」

今年度は、2年8か月に及ぶコロナ禍によって抑制されていたロータリー活動を従前の姿に戻すことを主眼に「エンジョイ・ロータリー」をクラブテーマとして、会員相互の親睦や対話の機会を増やすこと、例会を楽しく充実したものとすることに努めてきました。

その一環として、例会開催時間の変更、IDM夜間例会の増会(4回)、月見例会(バーベキュー)、家族例会(岡崎城・碧南)、花見例会(徳川園・名古屋城)など集える機会の充実を図ると共に、通常例会では雑誌のネタ作りとして「例会クイズ」を概ね月1回のペースで開催し、大相撲優勝力士・大谷選手ホームラン数・為替予想(米ドル/円)などの出題で対話や親睦を深めました。

例会を重ねるごとにクラブ川柳の投稿も徐々に増えてきたこと、雑談や笑い声が大きくなり会員の笑顔が多くみられるようになったことは、嬉しい限りです。

今に至り、クラブの皆様の大変な協力を得て当初の目的に近づけられたことに深く感謝を申し上げ回顧の挨拶と致します。ありがとうございました。



恵那ロータリークラブ 会長
高木 良直

「一年を振り返って」

幹事、副会長をはじめ、理事役員の皆様、メンバーの皆様の協力に支えられ、この一年を務めさせて頂くことができました。

本年度は「仕事・家庭・ロータリーの三方良しを築く」をスローガンとして、メンバーの皆様にロータリー活動を積極的に参加して頂き、特に入会5年未満のメンバー企業が何を強みとして会社をやっているのかわからないという状況を例会、夜間例会を通して無くし、会員同志意見を出し合い、より交流が計れる場所を提供してきました。思いの外、夜間例会への出席率が良く、結果が残せたと思います。

家族親睦行事としては、新年会、そして姉妹提携先のハワイパールリッチロータリークラブへ2月7日～11日、17名の会員・家族で遂行しました。5年ごとの交流を継続しており、久々の再会で楽しいハワイでの思い出が増えました。

会員増強 60名体制は道半ばですが、次年度竹中会長の下、引き続き増強活動に協力していく所存です。ありがとうございました。



土岐ロータリークラブ 会長
曾根 信司

「一年を振り返って」

今年度のテーマを「新しい時代に向かって、ロータリーを楽しみ、お互いを高め合おう」としました。具体的には例会・奉仕活動を充実することです。例会については外部卓話を増やすなどして例会の充実を図りました。家族会・新年互例会も親睦委員長のおかげで大変好評に行うことが出来ました。又、コロナで行えなくなった奉仕活動、インターアクトの活動を取り戻すことを目標にしました。これについては地区補助金を利用した奉仕事業を立ち上げ、来年2月の事業開催に向けて準備中です。インターアクトの活動については土岐商さんの体制も整い、インターアクト委員長の頑張りでも今まで以上の活動が出来そうです。

一番の課題であった会員増強については皆さんの協力で3名出来ました。皆さんの協力で次年度に向けて良い継承ができそうです。

幹事、副会長、理事のみなさん、各委員長には大変お世話になり何とか一年間乗り切ることが出来そうです。本当にありがとうございます。会員の皆様すべてに感謝です。次年度、土岐クラブとしてはI.Mを開催するなど忙しい年度になります。中山会長エレクトのもと更にクラブが発展していくよう協力をしていきたいと思っております。



多治見西ロータリークラブ 会長
田中 登志男

「一年を振り返って」

今年度は、新型コロナも第5類となり、ロータリー活動もフルにできるようになりました。

本年度は、「未来に向かって希望の種をまこう!」をテーマに、役員、理事、各委員会に皆さんに自主的・積極的に活動していただくことにより、各種行事も活性化しました。また、対外行事として、月信3月号に掲載していただきました地区補助金事業「発達障害の雇用を学ぶセミナー」をはじめ、多治見3RCガバナー公式訪問ホスト、地区大会のコ・ホスト、姉妹提携台湾苗栗RCとの行事、東濃地区会長幹事事務局連絡会議ホストなどもありましたが、未熟な会長を支えていただき、何とか次年度、加藤真左子会長にバトンタッチできる見込みとなりました。これもひとえに、幹事をはじめ役員、理事メンバー及び会員の皆様、近隣・東濃各ロータリークラブの皆様、第2630地区の関係者の皆様のご支援、ご協力の賜物と心より感謝いたしております。どうも有難うございました。



中津川センターロータリークラブ 会長
郷原 基幸

「一年を振り返って」

早いものでこの投稿文を書いていると一年前の不安の中のスタートを思い出します。

本年度は丸山ガバナー補佐を輩出する事によりI.Mの開催を主管させて頂きました。東濃グループの会員の皆様には大変お世話になると共に多くの会員の参加を頂きました事を心より感謝申し上げます。

クラブの活動状況は、地区補助金を頂き11月に新しい図書館で子供さんを対象に読み聞かせ事業を開催させて頂きました。その他にも会員相互の親睦と会員増強を行って来ました。

次年度には50周年記念式典を開催させて頂きますので、本年度同様に周年事業等で東濃グループの皆様方にはお世話になりますので宜しくお願い致します。

最後にクラブ会員に支えて頂いた事を心より感謝致します。



多治見リバーサイドロータリークラブ 会長
箕浦 浩久

「一年を振り返って」

ほんの2年数カ月前に、我がロータリークラブからガバナーを輩出することが決定しました。奇しくもその年度にクラブ会長を拝命することとなっていた私は、不安もありましたが兜の緒を締め直し、篠原ガバナーをホストクラブ一丸となって支えながら、会員が充実した活動を行えるようなクラブにしたいという、心の準備をしたのを昨日のこのように思い出します。

今期、会長として、クラブ内の活性化を図りながら、クラブ活動のみならず、第2630地区の大きなさまざまな行事をクラブ会員と苦楽を共に乗り越え、何とか成功裏に収められましたことは、クラブの大切な仲間が一致団結して活躍してくれたこと、また、地区の役員の方々のご支援の賜物であったと、感謝の気持ちでいっぱいあります。

ホストクラブ会長としてこの場をお借りし厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。



美濃ロータリークラブ 会長
北村 建

「一年を振り返って」

昨年7月に当クラブの会長に就任させて頂き、はや一年が経ちました。

県下でも古くからの伝統があるクラブですが、コロナ禍も相まって会員が減少しておりました。しかし、少なくなる人数の中、ロータリークラブの奉仕の精神を広めるため、また、地域の人々に認められるよう、奉仕活動を維持し活動することにより、新たに2名の会員を迎えることができました。

当クラブは、少人数のクラブではありますが、充実した時間をクラブで共有できるなど、チームワークは抜群だと思います。今後も今回の経験を活かし、引き続き皆さんとともに、ロータリークラブの活動を、熱い気持ちで盛り上げていければと思っています。

最後になりましたが、私を支え、一緒にがんばってくださった諸先輩方並びにメンバーの皆様に、心から感謝を申し上げます。一年間本当にありがとうございました。



各務原ロータリークラブ 会長
松井 雅史

「一年を振り返って」

「楽しいロータリー」とは何か。このテーマに挑みました。私が思う「楽しい」は、いつも集まる会員だけが「楽しい」のではなく、ベテラン会員は勿論、入会したばかりの会員も、すべての会員が楽しめる活動でした。

その答えは「親睦」にあると睨みました。皆が事業主で、経歴や経験、考え方も違います。お互いの理解を深めるには飲み会でしょう。楽しい席では、どんな話も楽しく聴けます。理解し合った方の建設的な意見は、何の嫌味もなく、むしろ刺激的でした。入会候補の方も誘いクラブの雰囲気を感じてもらいました。当クラブの楽しい雰囲気、一旦参加すれば帰るには仲間でした。

一年を振り返る今、10人目の仲間が入会することは感慨深く、活動の成果として自負しています。しかし大胆な活動のつもりが、若干いき過ぎた感もあり反省しておりますが、会員に支えられゴールまで辿りつけそうです。貴重な経験を自身の仕事や今後のロータリー活動に活かしたいと思います。



郡上八幡ロータリークラブ 会長
三原 慎也

「一年を振り返って」

「親睦のための奉仕 奉仕のための親睦」

35年前、父が郡上八幡RCの会長時のテーマを受け継ぎ一年間の活動を通して色々な経験、教えを学ばせて頂きました。特にグループ内での活動では他のクラブメンバーとの交流で色々刺激を受け、今後の自身のロータリー活動及び人生の中で素晴らしい1ページとなったと思います。

地区大会では古い知人との再会に若き日を思い出し、時の流れを感じ、今後も交流が続いていくことと思います。

自身のクラブにおいてはテーマに掲げた親睦・奉仕を中心に活動ができたと思います、これにはクラブメンバーのおかげであり色々助けて頂きました。特に、パスト会長の皆さんには色々な助言指導など、行き詰まったときには的確な意見のおかげで進んで行けたと思います。クラブメンバー、地区グループのメンバーの方々のおかげで年間楽しい活動ができました。感謝いたします、ありがとうございました。



郡上長良川ロータリークラブ 会長
松森 正和

「一年を振り返って」

今期は「子供たちの未来へ」をテーマに、放課後児童クラブ訪問、特別支援学校との防災訓練、高校生とのポリオワクチン募金活動、金沢大学こどもの心発達研究センター訪問などの活動を行ってきました。コロナ禍が終わり、ロータリーにおいては様々な場面で「希望」「未来」といった前向きな言葉が使われ、我々自身も随分と前向きな気持ちになったように思います。一方で、どこのクラブでも頭を悩ませているように、我がクラブも会員増強がなかなか進みません。やはり昔ながらのやり方に限界がきているのかもしれませんが。今期で創立46年、もうすぐ区切りの50年を迎えるにあたって、会員一人一人が自分たちの「未来」のためにどうしたら良いかを考える時が来ているのではないのでしょうか。ロータリーはある意味自由な団体なので、自由な発想で物事を考えていきたいものです。

一年間変わらないことばかりでしたが、自分自身少しは成長できたのではないかと考えています。ありがとうございました。



関ロータリークラブ 会長
大澤 竜一

「一年を振り返って」

昨年7月に関ロータリークラブの会長に就任し、この1年間、副会長、幹事そしてクラブメンバー、事務局員の皆様方にご協力いただき、無事ロータリー活動を終えることができたことに感謝申し上げます。本年度は“ロータリアンとしての意識の向上、そして地域社会への貢献”をスローガンとして掲げ、活動してまいりました。振り返りますと新型コロナウイルス感染症が2類から5類へ移行し、例年通りの活動が行うことができました。

8月の納涼例会から始まり、高木守道杯争奪中学生野球大会、クリスマス家族例会、地区補助金事業、最後に家族旅行、どれを取っても満足していただけたのではないのでしょうか。唯一残念なことは会員増強が上手くいかなかったことです。次年度以降、クラブ会員と共に1人でも多くの会員が増えるよう増強活動を行いたいと思います。次年度はさらなる飛躍の年度となりますことを祈念致します。かけがえのない1年を皆様、ありがとうございました。



関中央ロータリークラブ 会長
森 敬

「一年を振り返って」

当クラブでは重要な継続事業が二つあり、ひとり親家庭の支援と青少年育成に力を入れております。

今年度はR財団補助金を利用してひとり親家庭の親子と一緒に米作り農業体験をしました。田植えや稲刈りを体験し、収穫したお米を皆で調理して食し食育もしました。

青少年育成では関商工高校インターアクトクラブと森林整備例会を行い山の下刈りの体験をしてもらい草木の勉強もしました。児童や生徒の笑顔を見る事が出来て大変うれしく思いました。

クラブ入会候補者を対象にオープン例会も行いました。初めての試みで試行錯誤しながらでしたが、良い例会となりました。次年度、入会予定者も数名おり良かったと思います。

色々多くの事業を行い大変でしたが、充実した一年となりました。会員の皆様、ご協力ありがとうございました。



高山ロータリークラブ 会長
北川 由幸

「一年を振り返って」

昨年5月に新型コロナウイルス感染症の位置づけが「5類感染症」になった後の7月に私が、新しく当クラブの会長となりました。長期にわたる活動自粛のため就任当初はいつかまた同じ事が起きるのではと不安が付きまといました。例会を順調に重ねIM、地区大会と大きい行事が終わっていくごとに不安がなくなってきました。

当初から原点に戻ってかつての楽しいロータリー活動に戻っていけばと思いつつ例会を大切かつ丁寧にしようと思いつつ日々行動してまいりました。なかなか進捗が思うようにできず反省する日も多々ありましたが、今から思えば良い思い出です。

悔やまれる事といえば、日々の活動を重点に置きすぎたため少し冒険的な活動ができなかった事と会員増強ができなかった事です。反省しております。

いずれにしても頼りない会長を支えてくれました各委員長の皆様、各会員の皆様、そして各会員家族の皆様にご感謝申し上げます。ありがとうございました。



下呂ロータリークラブ 会長
前野 智

「一年を振り返って」

新型コロナウイルスが5類に移行され、いよいよ日常が戻ってきたと感じる今年度でした。我がクラブの継続事業である、市内小中学校での桜の木の天狗巣病駆除作業、12ヵ年皆勤表彰、益田清風高校での模擬面接指導やインターアクト部への支援等、例年通り事業を行うことができました。

また、5月からは、米山記念奨学生の世話クラブをお受けすることになっていますし、今年度は、青少年交換事業はありませんでしたが、2025年度の派遣に向け1名の学生を推薦しており、次年度へ向け、動き出しています。

会員増強につきましては、前年度からの取組が功を奏し、6名の新会員を迎えることができました。うち2名は女性会員の入会となり、クラブの活性化に繋がりました。これも会員一丸となって取組んだ賜物と感謝しております。今後とも会員の皆様のご協力をお願い致します。1年間ありがとうございました。



高山西ロータリークラブ 会長
下屋 勝比古

「一年を振り返って」

「自他共栄」= (己を研鑽し高めたことを 地元へ還元し尊敬されるクラブで活動しよう)をテーマに、「品格と伝統」を重んじながら1年間歩んできました。4年ぶりにコロナ制限のない日常に戻り、施設訪問やゲスト卓話など多彩に例会活動ができました。

メインの財団補助金事業は、「相撲に触れる一日」を開催し、会員みんなで汗を流して土俵を作り、第72代横綱稀勢の里の二所ノ関親方をお招きしての講演会を開催し、元横綱の大きさを体感し地元の子供たちに日本伝統文化を伝承できました。

正月に起きた能登半島地震では、台北の友好クラブから多くの支援金が届き、被災された七尾ロータリークラブへ我々の想いと共に直接第2610地区ガバナーと届けてきました。

「自分のことは自分でやる。やれんことはやってもら。やれることはやってあげる。」ロータリー会員の義理と人情と愛にあふれた一年間でした。高山西クラブ、濃飛グループ、第2630地区全てのロータリアンに感謝します。



美濃加茂ロータリークラブ 会長
西田 逸夫

「一年を振り返って」

振り返りますと、早いものでもう1年が経とうとしています。昨年の3月にPETSを受講して、不安の連続でしたが「自分なりにやるしかない。どうにかなる」と思い、何とか次の年度にバトンタッチできる時期まで来ることができました。

本年度は、例年の活動に加え青少年交換学生の受入とホストクラブとしてIM開催の企画運営と大きなイベントを経験させていただきました。

本年度クラブテーマ「身の回りから小さな1歩 気づきから行動へ」ということで、少額ながら市内5か所の子ども食堂に助成金を渡すことができました。

女性会員も4名から6名と2名増え女性会員比率も地区でトップクラスになり、右往左往しながらも、終了できるのはクラブメンバー全員が協力していただいた結果だと確信しております。

この1年、支えていただきましたクラブメンバー全員に感謝、御礼申し上げます。



可児ロータリークラブ 会長
村瀬 毅

「一年を振り返って」

昨年7月に会長に就任させて頂いて早いもので任期を終えようとしています。本年度は、ロータリーの原点に戻って奉仕活動に取り組むこと。つまり、ロータリーの「超我の奉仕」という信念と、「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という原理を実践することをクラブの目標に掲げました。活動内容は蘇南中PTAとの連携による職業講話の実践。可児市や御嵩町のキッズクラブへの図書贈呈。可児市ゴルフ協会の協力を得てのジュニアゴルフスクールを開講。鳩吹山の清掃活動などです。どれも会員の参加率が高いたへん内容の濃い奉仕活動が出来ました。納涼、クリスマス家族例会においては管理運営委員会の企画が素晴らしく、会員をはじめ家族の方々にもたいへん楽しんでもらえたと思います。

会長としてのこの一年間は緊張の連続でしたが、振り返ってみればたいへん楽しく充実した一年間でした。

最後に幹事をはじめ会員の皆様方に支えられ会長としてクラブ運営ができたことに感謝申し上げます。1年間本当にありがとうございました。



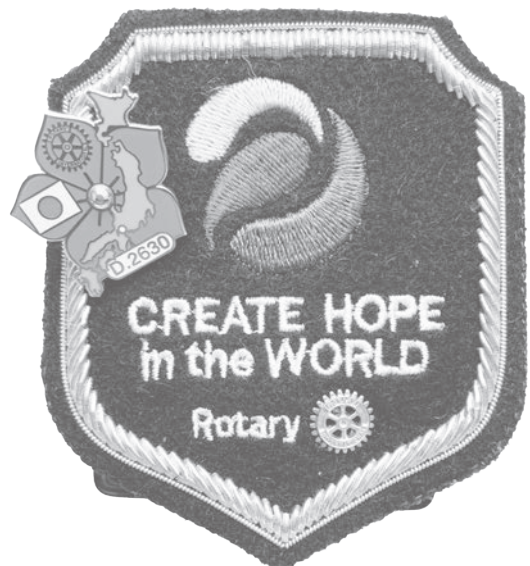
高山中央ロータリークラブ 会長
岩本 正樹

「一年を振り返って」

2023-2024年度は、新型コロナウイルスによる活動制限から完全に開放され、久しぶりに1年を通してフルスペックで活動することが出来ました。

私はクラブの年間テーマを「親睦」～例会に出席しよう～として1年間活動して参りました。篠原ガバナーの年初の言葉に、～ロータリーは『親睦・学び・成長・奉仕』～だと語られておりますが、ロータリアン同士の親睦を基盤に学び合い、成長して、価値ある奉仕活動を実践していくという理想の下、その最初の親睦活動に特に重点を置いて夜の親睦例会や委員会の懇親会、新会員への研修会など積極的に活動して参りました。

また、その他の行事につきましても市内の小中学校への出前講座や、インターアクトクラブと共に行ったポリオ根絶募金、地区補助金を活用して高山市図書館で行った絵本作家による幼児への読み聞かせイベントなど、地区や会員の方々のご協力を頂きまして当初予定していた行事はすべてこなす事が出来ました事、感謝申し上げます。次第でございます。



2024-25 年度 米山奨学生入学式

米山記念奨学委員会 委員長 長谷川 隆志（岐阜東 RC）



4月7日(日)名古屋の安保ホールにて、24-25年の新米山奨学生とカウンセラーのオリエンテーションを、辻カウンセラー・亀井ガバナーエレクト・玉野ガバナーノミニーのご臨席のもとで行われました。今年は岐阜、三重合わせて15名の新奨学生と、二年目継続3名の合計18名の奨学生が、各ロータリークラブに所属いたします。国別といたしまして中国は毎年多いもののベトナム・ミャンマー・インドネシア・ネパール・マレーシアとなっております。以前は多かった韓国は今回

一人もおりません。奨学生たちは今年1月の面接選考会にて優秀な成績で合格された方々です。日本語でのコミュニケーション能力も抜群で、ロータリアンとの交流も問題ないです。どんどん奨学生たちをお客様ではなく、メンバーの一員として接していただき、奨学生たちもメンバーさん達の名前と顔を必死に覚えていきます。そして、卒業後も交流できる環境を作っていただけるようご協力のほどよろしく願いいたします。

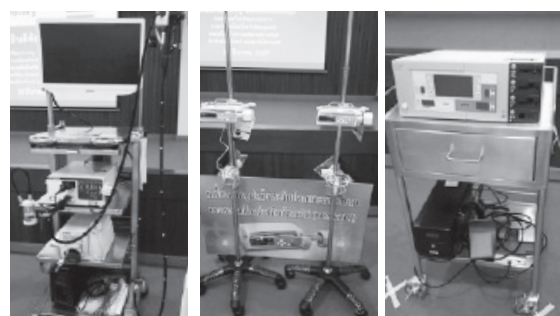


タイ国第 3330 地区 GG プロジェクト・引渡セレモニー・地区大会参加

奉仕プロジェクト部門 委員長 勝川 生年（美濃加茂 RC）

奉仕プロジェクト部門は昨年より進めてまいりました、海外での社会奉仕プロジェクトの完成と購入機器の引き渡し式を現地にて参加をして確認をしてまいりました。現地へは篠原ガバナー様も同行して下さり、双方の代表者によりプロジェクトの完成を祝い友好を更に深めることが出来たことは最高の喜びです。プロジェクトの詳細は現地医療機関から、かねてより渴望されていた大腸がんの早期発見と予防に使われる「大腸内視鏡検査」内視鏡を挿入して大腸全体（直腸から盲腸まで）の内部を観察する検査です。一般的には大腸内視鏡検査、大腸カメラなどと呼ばれています。

設備の寄贈先はタイのバンコクより西に車で約2時間のナコンパトン県にある SAMPRAN 病院です。施設の選定にあたっては様々な条件があり、機器の管理と継続使用・操作が出来る技師・スタッフの存在など現地では限られた施設と成ります。



引き渡しの席で、なぜ？設備を援助に頼るのか、質問が出ました。返答は資金不足です。院内の病室にはエアコンなどの空調機もありません。高温多湿のタイ国で入院患者は扇風機で過ごしています。高精度の医療機器購入は国からの補助も期待できずロータリークラブの存在は正に“MAGIC”です。現地のロータリアンは地域に役立っていることに誇りを持っています、その姿を見習って私たちが生まれ育った地域にインパクトのある奉仕に注力したいと思います。

第3回 ガバナー杯 チャリティーゴルフ大会

チャリティーゴルフ大会実行委員会 委員長 横田 圭右 (多治見リバーサイド RC)

主催 国際ロータリー第2630地区 篠原一行ガバナー
開催日 2024年4月19日(金)

ホスト 多治見リバーサイド RC
開催場所 スプリングフィールドゴルフクラブ

晴天の下、地区予選大会を勝ち抜いた選手と各グループより推薦いただいた合計133名の選手によるガバナー杯チャリティーゴルフ決勝大会を多治見市スプリングフィールドゴルフクラブで開催しました。

成績結果次のとおりです。

- 団体グロス賞
 - 《優勝》……鈴鹿シティ RC
 - 《準優勝》……可児 RC
 - 《3位》……大垣 RC
- 団体ダブルペリア
 - 《優勝》……岐阜 RC
 - 《準優勝》……鈴鹿シティ RC
 - 《3位》……郡上八幡 RC
- ◆ 個人ダブルペリア
 - 《優勝》……大島靖生(多治見 RC)
 - 《準優勝》……谷田哲章(鈴鹿 RC)
 - 《3位》……森本潤一(松阪東 RC)



参加皆様から、ポリオ撲滅チャリティー募金をしていただきました。

募金金額 181,000円

ご協力いただき、誠にありがとうございました。

今回実行委員長と言う大役を務めさせて頂きました。名前だけの委員長でしたが、皆様方のご協力を頂き大きなトラブルも無く無事終える事が出来ました。自分自信色々勉強させて頂く事も多く今後のロータリー活動にも活かしていけるのではないかと考えております。この度は誠にありがとうございました。



みえぎふEテラスロータリークラブ設立報告及び入会のお願い

新クラブ推進小委員会 委員長 高井文洋 (美濃加茂 RC)



2024年5月15日(水)国際ロータリー日本事務局から認証状が届き、『みえぎふEテラスロータリークラブ』が第2630地区74番目のクラブとして発足しました。

チャーターメンバーは移籍3名・元ロータリアン1名・米山奨学生の卒業生1名・現ロータリアンご子息3名・若い新会員

13名の計21名です。Eクラブの特性をいかし、第2630地区内に留まらず東京・茨城・神戸など幅広く会員がいます。また、パスポートクラブの特性も備えているクラブですので、既存のクラブ入会の前段階として、ロータリーのお勉強を兼ねて入会されるのも大変有意義だと考えられます。月4回ある例会のうち、2回は従来型の卓話を中心とした例会。その他2回は、通称雑談例会と呼ばれている例会です。一つのテーマで出席者全員が討論する一風変わった例会です。若い方々の意見・仕事上からの意見など様々な意見を聞く事ができ、それは活発に討議をする例会です。

まだまだ、産声を上げたばかりの小さなロータリークラブですが、これから精進し74番目のクラブとして頑張りたいと考えております。

最後になりますが、月一回オープン例会(誰でも参加可能)を開催しております。是非一度Eクラブ例会に参加してください。そして是非入会希望者を推薦してください。次年度になりましたら、早い段階でチャーターナイト等開催できればと考えております。

これからも『みえぎふEテラスロータリークラブ』宜しくお願いします。



国際ロータリー第2630地区 会員数報告

2024年4月分

グループ	クラブ	例会数	会員数					
			期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
桑名	桑名	4	34	0	38	1	6	2
	桑名西	3	28	1	29	1	2	1
	桑名中央	3	28	3	27	3	1	2
	桑名北	2	29	5	28	6	1	2
	グループ計(4)		119	9	122	11	10	7
四日市	四日市	4	82	2	87	2	15	10
	四日市北	4	20	4	21	4	1	0
	四日市西	4	74	4	75	5	3	2
	四日市南	4	30	4	30	4	1	1
	四日市東	4	31	0	32	0	3	2
	グループ計(5)		237	14	245	15	23	15
鈴鹿・亀山	鈴鹿	4	69	10	74	10	8	3
	鈴鹿西	4	28	7	29	6	2	1
	鈴鹿ベイ	3	12	0	11	0	0	1
	亀山	3	10	0	11	0	1	0
	鈴鹿シティ	4	58	2	71	4	13	0
グループ計(5)		177	19	196	20	24	5	
中勢・伊賀	津	4	63	1	63	1	6	6
	上野	4	34	2	38	5	4	0
	名張	4	36	1	41	3	7	2
	津南	3	43	2	41	2	3	5
	津北	4	49	4	52	4	4	1
	上野東	4	37	2	36	2	0	1
	久居	4	28	3	29	4	2	1
	名張中央	4	19	2	20	2	1	0
	グループ計(8)		309	17	320	23	27	16
松阪・東紀州	松阪	4	73	0	75	0	3	1
	松阪東	4	70	14	74	14	4	0
	熊野	3	35	5	37	5	4	2
	尾鷲	4	11	2	11	2	1	1
	松阪山桜	4	38	3	39	4	2	1
	グループ計(5)		227	24	236	25	14	5
伊勢・鳥羽・志摩	伊勢	3	50	0	50	0	2	2
	鳥羽	4	30	3	31	3	1	0
	伊勢南	4	41	5	37	4	0	4
	志摩	4	42	12	42	11	2	2
	伊勢中央	4	44	0	48	0	6	2
	伊勢度会	2	16	4	16	4	0	0
	グループ計(6)		223	24	224	22	11	10
三重県合計(33)		1,292	107	1,343	116	109	58	

■2023年4月(前年度) 会員数報告

	期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
三重県合計(33)	1,283	101	1,335	108	99	47
岐阜県合計(40)	1,711	75	1,750	83	116	77
地区合計(73)	2,994	176	3,085	191	215	124



グループ	クラブ	例会数	会員数					
			期首	うち女性	月末	うち女性	増	減
岐阜A	岐阜	4	75	2	79	2	10	6
	岐阜西	3	41	0	39	0	0	2
	岐阜長良川	3	40	0	42	0	3	1
	岐阜北	3	36	4	33	4	1	4
	岐阜中	2	26	1	24	1	0	2
	グループ計(5)		218	7	217	7	14	15
岐阜B	岐阜南	3	83	9	84	10	4	3
	岐阜東	3	40	2	42	2	4	2
	岐阜東南	4	35	0	35	2	4	4
	岐阜加納	4	87	0	86	2	5	6
	岐阜エトス	3	17	2	17	2	1	1
	岐阜城	4	18	0	20	0	2	0
グループ計(6)		280	13	284	18	20	16	
岐阜西濃	大垣	3	85	2	91	3	6	0
	大垣西	4	79	0	89	1	11	1
	本巣	4	27	1	26	1	0	1
	羽島	3	35	2	34	2	1	2
	不破	3	26	0	24	0	0	2
	大垣中	3	61	3	59	3	1	3
	大垣センチュリー	4	49	4	53	4	5	1
	岐阜淡墨	3	16	1	17	1	1	0
	岐阜サンリバー	3	17	4	17	4	0	0
グループ計(9)		395	17	410	19	25	10	
岐阜東濃	多治見	4	53	4	60	4	8	1
	中津川	3	69	3	70	4	4	3
	瑞浪	4	61	1	62	1	4	3
	恵那	4	46	3	50	4	4	0
	土岐	4	36	2	38	2	3	1
	多治見西	3	30	3	37	3	7	0
	中津川センター	3	57	2	59	2	4	2
	多治見リバーサイド	4	51	1	60	4	10	1
グループ計(8)		403	19	436	24	44	11	
東海北陸道	美濃	3	18	0	20	0	2	0
	各務原	2	29	1	37	4	9	1
	関	4	45	2	44	2	1	2
	郡上八幡	4	36	2	37	2	3	2
	関中央	3	27	0	28	0	1	0
	郡上長良川	4	32	5	33	5	1	0
	グループ計(6)		187	10	199	13	17	5
濃飛	高山	4	34	0	36	0	2	0
	下呂	3	26	1	32	3	6	0
	高山西	3	36	2	37	2	2	1
	美濃加茂	4	41	4	42	6	3	2
	可児	3	40	1	40	1	0	0
	高山中央	3	54	3	54	3	2	2
グループ計(6)		231	11	241	15	15	5	
岐阜県合計(40)		1,714	77	1,787	96	135	62	
地区合計(73)		3,006	184	3,130	212	244	120	

2024年4月分









受賞

 岩崎 史嗣 藍綬褒章	 小寺 徹也 黄綬褒章	 松村 多美夫 旭日小綬章	 吉田 麗己 岐阜県各界 功労者表彰
--	--	--	--









入会会員

 加藤 やよい 2024.4.8 入会 不動産業	 久松 玲子 2024.4.11 入会 証券業	 村口 聡 2024.4.18 入会 証券業	 水谷 友哉 2024.4.2 入会 建築請負業	 飯田 翔平 2024.4.3 入会 総合建設業
--	--	--	--	--

入会会員

 遠山 雅夫 2024.4.22 入会 ガス供給	 大藪 泰昭 2024.4.22 入会 不動産賃貸	 柴田 智広 2024.4.3 入会 情報サービス業	 平賀 博基 2024.4.9 入会 真珠養殖業	 大森 一秀 2024.4.9 入会 会員制ホテル	 森 俊彰 2024.4.26 入会 外装工事業	 草野 進太郎 2024.4.2 入会 廃棄物処理業	 澤頭 典男 2024.4.2 入会 建設業	 高田 晃裕 2024.4.2 入会 カレンダー印刷	 田中 淳司 2024.4.2 入会 不動産業
--	---	--	--	---	--	---	--	--	---

入会会員

 星野 恵里 2024.4.2 入会 神道	 松岡 泰久 2024.4.10 入会 保険業(損保)	 宮嶋 伴昭 2024.4.1 入会 金属製造業	 松下 弘典 2024.4.1 入会 水道工事業	 多和田 充宏 2024.4.1 入会 社会福祉	 冨澤 義人 2024.4.4 入会 生命保険	 宮川 学 2024.4.5 入会 観光事業	 林 節子 2024.4.5 入会 内科病院
--	--	---	---	---	--	--	---

逝去会員

 水野 鉄治 2005.6.7 入会 2024.4.8 逝去 2018-19 年度会長 ボール・ハリス・ フェロー 謹んでご冥福を お祈り申し上げます

地区代表幹事挨拶

地区代表幹事 山本 和彦



青天の霹靂、この言葉からスタートした篠原ガバナー年度への道のり。デジグネートでも無く、ノミネーとしても既に半年遅れでのロケットスタートとなりましたが、地元が多治見 RC・多治見西 RC さんからも応援を仰ぎ、地区幹事 16 名体制のもと、地区チーム研修セミナー、PETS、地区協と大きな事業も無事開催出来ました。

但し地区協では大変な雨の中、小学校のぬかるんだグラウンド駐車場、外のテントでの昼食などご迷惑をお掛けしました。以来、今年度は雨のイメージが定着することに、、、。

各クラブへの公式訪問は大雨警報発令中の郡上八幡 RC から始まり、地区内 73 クラブへポリオ撲滅を願う素敵なおラッピングカーにて、所属クラブの若手メンバーも交代で同行し、その際歓迎を受けましたことは本当に有難く感謝の念に耐えません。

11 月には地区大会を開催。RI 会長代理歓迎晩餐会は名古屋観光ホテルで、翌日の多治見では 100 歳を迎えられた裏千家千玄室大宗匠の迫力の記念講演、会場を移動しての大懇親会は大変多くの会員の皆さんにご参加頂き、大盛況のうちに終える事が出来ました。

コロナも落ち着きフルスペックでの一年を取り戻した中で、初めてのガバナー輩出クラブとして手探り感満載ではありましたが、多治見リバーサイド RC 一丸となって取り組めました事は、クラブとして大きな収穫であり大変貴重な体験でした。

2 年半に渡ってご指導頂きましたパストガバナーはじめ地区役員の皆様、各クラブ会長幹事・会員の皆様、地区事務所、クラブ事務局、東濃グループの皆様には大変お世話になりました。至らぬ点も多く反省の日々ではありますが、私の首をもってお許し頂ければ幸いです。ありがとうございました。

地区研修・協議会報告

2023-2024 年度 ガバナーエレクト 亀井 喜久雄

2024 年度地区研修・協議会が 4 月 13 日（土）三重県総合文化センターで開催されました。当日は晴天に恵まれ、特別出席者をはじめ、次期ガバナー補佐、次期地区委員会委員長の皆様、そして第 2630 地区内 73 クラブの皆様など、数多くのロータリアンの方々に出席していただきました。

開会セッションに続き、第 1 セッションでは、私、亀井喜久雄から、地区活動方針として RI 会長エレクトのテーマである「ロータリーのマジック」の推進と、地区方針テーマ「地域にインパクトを」の実践等のお話をさせていただきました。同時に別の会場では、次期ガバナー補佐、地区委員長、そして会長エレクトの皆様方に向けて、ロータリー・コーディネーター補佐の辻正敏様より、大変貴重なお話をさせていただきました。

休憩をはさんで、それぞれの委員会による分科会が、各会場に分かれて開催されました。本年度は会場の都合により、複数の委員会合同の分科会もありました。コンセプトの近い委員会による合同形式でしたので、多くの会員にとって幅広く理解を深めることができたものと思います。

その後移動し、閉会セッションが行われ、無事に地区研修・協議会が終了いたしました。地区内のクラブが情報を共有し、ロータリーの目的への理解が進み、また会員同士の親睦を図ることができ、大変有意義なセミナーとなりました。これこそが地区研修・協議会の大きな目的であると思います。

各クラブが、元気で活動できるように応援するのが地区の役割です。次年度に向けて、私たち第 2630 地区の地区運営を、皆様方と共に精一杯務めさせていただきます。今後ともご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。



「心のふるさと～多治見～」

ガバナー月信 表紙説明

作詞・作曲：市原俊子



- | | | |
|---|--|---|
| <p>1、
土岐川 流るる ゆらゆらと
風に吹かれ 夢をのせて
春は 緑に 木々はそよぎ
ふるさとの香りに 包まれる
多治見の町は 未来に向かい
昔も今も 活きついている
おいでよ おいでよ
心のふるさとへ</p> | <p>2、
陶器の町を 歩いてみよう
素敵な出会いが 待っている
秋には もみじが 赤く染まり
虎溪山も 色あざやか
多治見の町は 未来に向かい
昔も今も 歌っている
あたたかな ぬくもり
心のふるさとよ</p> | <p>3、
電車を降りて 眺める景色
都会の淋しさを 忘れさせる
会社帰りの 疲れた体も
ほっと一息 安らぎゆく
あなたを待って 息づく街よ
明日の希望へ 夢はぐくむ
おかえり おかえり
心のふるさとへ</p> |
|---|--|---|

多治見市には、「たじみのうた」として 271 曲存在します。その中で、今現在も夕方 6 時（4/1～7/31）の防災行政無線チャイムで流れる曲の歌詞を紹介して今年度最後の表紙説明とします。

2023-2024 年度 地区事務所・ガバナー事務所・地区大会事務所 案内

地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南 3-5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail : branch@rid2630.org	執務時間 9:30-17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー事務所 地区大会事務所	〒507-0036 岐阜県多治見市田代町 3-21-1 TEL 0572-56-2630 FAX 0572-56-2631 E-mail : 2324@rid2630.org (ガバナー事務所) E-mail : 2324taikai@rid2630.org (地区大会事務所)	執務時間 10:00-16:00 (土・日・祝日 休務)